

平成30年第3回大仙市議会定例会

市政報告

平成30年8月28日

大仙市長 老松博行

平成30年第3回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、8月25日に開催された第92回全国花火競技大会「大曲の花火」についてであります。

本年は、「行雲流水こううんりゅうすい あいより あおし」を大会テーマとして、国土交通省をはじめ秋田県警、広域消防、消防団など関係機関のご協力のもと盛大に開催されました。

当日は、台風による影響が心配されましたが、天候にも恵まれ、地元花火業者の共同制作による大会提供花火「SING SING SING」も好評を博し、75万人の人出となっております。競技においては、最優秀賞である内閣総理大臣賞を群馬県の有限会社菊屋小幡花火店きくやおぼたが受賞しております。

大曲の花火ウィークについては、8月19日に花火通り商店街を主会場として開催された「夏まつり大曲 2018」のほか、23日から25日までの3日間、丸子橋特設会場において行われた「街中音楽SHOW」、
「日替わり花火SHOW」などのイベントにより、大会直前のまちの雰囲気盛り上げていただいております。

また、今回の大会に合わせ試験的に実施いたしました「イベント民泊事業」については、大曲、神岡、協和及び仙北地域の10世帯から自宅の提供をいただいております。宿泊者については、17団体53人から

応募をいただき、宿泊先との調整の結果、10団体42人にご利用いただいております。今後は、自宅提供者や宿泊者からご協力いただいたアンケートをもとに、事業の検証を行い、来年度以降の規模拡大に向け検討してまいります。

本年度、岩手県宮古市との交流事業として新たに実施いたしました「宮古市民『大曲の花火』招待事業」については、宮古市の子育て世帯を対象に、24世帯71人を招待しております。宮古市とは、秋田・岩手地域連携軸推進協議会を通じた観光事業の共同実施や、東日本大震災における被災地支援により絆を深めてまいりましたが、今回の取組を契機に、より一層交流を推進してまいりたいと考えております。

「大曲の花火 秋の章」については、「花火劇場～エバーグリーン～」と題し、10月13日に全国花火競技大会と同じ会場で開催される予定であり、バラエティ豊かな劇場型花火の打ち上げを行うこととしております。

次に、花火産業構想の進捗状況についてであります。

花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」については、8月5日に川原秋田県副知事をはじめ、約100人の関係者からご出席をいただき、オープニングセレモニーを開催しております。

当日は、平成20年から花火資料の収集・整理活動にご尽力をいただ

いております民間ボランティア団体「花火伝統文化継承プロジェクト」
に対し感謝状を贈呈したほか、大曲東保育園の園児や大曲太鼓道場によ
るアトラクションの披露、昼花火スターマインの打ち上げを行っており
ます。

別館の旧産業展示館では、開館を記念し「ありがとう『大曲の花火』
を支えた全国の花火師たち」と題した特別企画展のほか、大仙市「明治
150年事業」として、「大曲の花火」と人々の暮らしの関わりを知る
ことができる田口松圃しょうほの日記を展示しております。資料館3階の資料
展示室では、「大曲の花火」ポスター・プログラム展と、「大曲の花火」
の前身であります奥羽六県煙火共進会の第一回大会に関する展示などを
行っております。

また、藤城清治氏の作品「大曲の花火」のレプリカも開館に合わせ
公開しております。色鮮やかな花火の影絵が暗闇に浮かび上がり、光と
水が織りなす幻想的な空間を体感していただいております、誘客を促進する
うえで大きな効果が期待できるものと考えております。

8月26日までの来館者数は、夏休み中のオープンということもあり
親子連れを中心に約8千人となっており、また、「大曲の花火」当日に
は1,800人を超え、多くの方々にご観覧いただいております。引き
続き、関係者のご協力をいただきながら資料収集に努めるとともに、
展示内容の充実を図り、何度でも訪れたいと思っただけ、魅力あ

る資料館づくりに努めてまいります。

次に、「秋田新幹線防災対策トンネル整備促進期成同盟会」についてであります。

本同盟会については、7月18日に、秋田、岩手両県の県議会議員をご来賓に迎え、31の会員団体から約380人のご出席をいただき設立総会を開催しております。

総会では、秋田県知事を顧問とし、私を会長、秋田市長ほか6人を副会長、仙北市議会議長ほか2人を監事とする役員案などが承認されたほか、今後の活動方針となる決議書を採択しております。なお、岩手県知事からは、8月7日にオブザーバーとして本同盟会に参加する意思が正式に表明されたことから、秋田岩手両県の県、市町、議会及び民間団体が一致団結して活動に取り組む環境が整ったものと考えております。

要望活動については、8月9日に、15人の会員からご参加をいただき、秋田県との合同により実施しております。菅内閣官房長官、石井国土交通大臣に面会し、本トンネル整備に係る積極的な財政支援を要望したほか、秋田、岩手両県選出国會議員及び財務省をはじめとする国関係機関に対しても同様の要望を行っております。また、東日本旅客鉄道株式会社に対しましては、本同盟会設立の趣旨を説明するとともに、本トンネル整備の早期実現を要望しております。

次に、市内産大根を活用した「いぶりがっこの産地化」に向けた取組についてであります。

全国的に知名度が高い「いぶりがっこ」については、県内の年間製造本数約278万本のうち、7割程度が本市で製造されており、新たな特産品としての確立が期待されるところであります。

しかしながら、市内製造業者においては、製造規模の理由から、例年10月から翌年1月までの間に品薄や欠品状態が続き、消費者ニーズに対応できずにいると伺っております。

また、原料大根の生産については、収穫作業が重労働であることや機械化への投資に対するリスクへの懸念などから、量産体制に結びついていない現状にあります。

こうした状況から、業界の基盤整備と規模拡大を図り、持続可能で自立した6次産業として定着させるため、「いぶりがっこの産地化」に向けた、官民協働による新たな取組が進められております。

6月29日には、大曲商工会議所、東日本旅客鉄道株式会社秋田支社、株式会社北都銀行、秋田おばこ農業協同組合及び市内既存製造業者で組織されております「大仙市いぶりがっこ生産者協議会」の民間5団体に、秋田県と本市が加わり、「大仙市いぶりがっこ産地化協議会」が設立されております。協議会では、各団体の専門性を活かし、原料大根の生産拡大に向けた調査研究や安定供給に向けた仕組づくり、いぶりが

っこ製造の工業化などに取り組むこととしております。

本市の役割として実施する「いぶりがっこ産地化事業」については、8月3日付けで、地方創生推進交付金の対象事業として内示をいただき、本年度は、原料大根の生産拡大に向け、秋田県立大学に加工用大根の研究を委託するほか、販路拡大のための市場調査や講演会の開催などを行うこととしております。

今後は、加盟団体相互の緊密な連携のもと、販路拡大に向けたPR活動、地域ブランド確立のための二次的商品の開発など各種取組を推進しながら、本市の基幹産業であります「農業」と「食文化」を活かした新たな取組として、地域経済の発展を目指してまいります。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

「職員採用試験」については、大学卒業者である一般事務職員、建築技術職員及び学芸員、免許を要する保健師及び管理栄養士、県外在住者で一定の社会経験がある移住希望者、合わせて25人程度の採用予定に対し、92人の申込みをいただいております。一次試験を7月22日に、二次試験を8月16日から18日の間に実施しており、9月14日に合格発表を行う予定であります。

また、昨年度、採用枠を創設しました「短大・高卒程度」については、

10人程度の採用を予定しており、一般事務職員及び土木技術職員の一次試験を9月16日に実施することとしております。

次に、企画部関係についてであります。

「ふるさと納税」については、本年度、新たな返礼品として追加しました「大曲の花火おもてなしツアー」を8月25日から26日までの2日間にわたり実施しております。参加された32人は、大曲の花火を専用席で観覧したほか、市内温泉施設に宿泊し、旧池田氏庭園や酒蔵を見学しております。

今後は、特産品や観光など本市の魅力のPRに努めるとともに、窓口の拡大と決済方法の追加、プロモーション力の強化を図るため、10月からインターネットによる寄附の受付窓口を増設することとしており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、市民部関係についてであります。

「廃棄物処理の広域化」については、本市、仙北市及び美郷町において、廃棄物処理施設を適正かつ効率的に運営するため、「廃棄物処理広域化基本構想」を策定しております。これを受け、来年4月に施設運営を一本化するための具体的な準備が整ったことから、6月21日に廃棄物処理の広域化に関する協定書を取り交わしております。本協定に

基づき、大曲仙北広域市町村圏組合に大仙美郷環境事業組合及び仙北市の廃棄物処理施設に関する運営の権限を移管するとともに、大仙美郷環境事業組合を解散する必要があることから、今次定例会に関連する単行案を上程しております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

「大仙市戦没者追悼式」については、7月18日に大曲市民会館において194人の参列のもと開催しております。また、公文書館「大仙市アーカイブズ」では、終戦記念日に合わせ8月25日まで「戦争と人々」をテーマにした企画展を開催し、昭和19年に戦死された本市出身者の遺書や、終戦後の様子を記した日記など、当時の状況を伺える貴重な資料を展示しております。終戦から73年の歳月が過ぎ、悲惨な戦争の記憶の風化が懸念される状況ではありますが、恒久平和の願いが後世に受け継がれるよう事業を続けてまいります。

「敬老会」については、76歳以上の16,270人を対象に、9月3日から9月21日まで、市内15の地域や地区で開催することとしております。

次に、農林部関係についてであります。

中仙地域の「園芸メガ団地トマト栽培」については、昨年より1日早

い6月30日から出荷が始まり、8月20日現在の出荷量は、昨年同期に比べ7パーセント増の120トンと伺っております。生育状況は概ね順調であり、収穫作業と併せ、整枝、摘葉、摘果などの管理作業が進められております。

「農業水利管理体制強化支援事業」については、市内の土地改良区や水利組合による農業水利施設の管理体制を強化するため、県との連携により計画を策定するものであります。本計画の策定にあたり、経費の一部を負担する必要があることから、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、経済産業部関係についてであります。

市内で新たに創業を目指す個人や新分野に進出する事業者を支援する「創業支援事業」については、7月末現在で、大曲地域7件、中仙地域1件の申請に対し交付決定しております。当初予算額450万円に対し、執行率は98%となっており、現在も申請に対する相談が寄せられていることから、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

企業誘致については、秋田県企業立地事務所に派遣している職員や昨年度採用した首都圏在住の企業専門監が主体となり企業訪問を行っているほか、私も上京の機会を捉えて市内誘致企業の本社や親会社を訪問し、情報交換を行っております。また、知事が会長を務める秋田県

企業誘致推進協議会の会員として、8月8日に行われた「あきたリッチセミナー in TOKYO」に参加し、企業に対して本市の立地環境を紹介するとともに、それぞれの業界動向や今後の事業展開などについて情報交換を行っております。

インバウンド誘客の取組については、8月20日から23日までの間、秋田県知事をはじめ、県内11市町、商工団体、観光団体及び民間企業の関係者など55人により、台湾へのトップセールスを行っており、私や高橋市議会副議長が同行をしております。期間中は、大曲青年会議所と中和^{ちゅうわ}国際青年商会を通じて交流を進めております^{しんべい}新北市及び同市中和区を表敬訪問したほか、本市の観光資源である「大曲の花火」や旧池田氏庭園、花火伝統文化継承資料館などのPRにより、海外からの誘客拡大を図るため、旅行会社2社を訪問しております。

次に、建設部関係についてであります。

道路維持については、市道の異常や損傷箇所の早期発見・早期対応の充実を図るため、位置情報や写真をスマートフォンなどから投稿できるシステムの導入について準備を進めてまいります。

次に、災害復旧事務所関係についてであります。

昨年、2度にわたり発生しました大雨災害に伴う「災害復旧事業」

については、国の補助事業として採択された公共土木施設をはじめ、農地、農業用施設、林道の災害復旧並びに県補助の治山事業を実施しております。国の査定後の事業箇所は、全体で177カ所、工事費19億1,696万円であり、8月10日現在で126カ所の工事を発注しております。このうち、既に工事が完成しておりました協和地域の^{たいせい}大盛荒川鉦山線については、8月5日に発生した大雨により再び被災したことから、本年度の災害査定に向け、現在、県と協議を進めております。

地すべりを起因とした道路災害については、協和地域の宮田又線の工事契約を8月9日に締結しております。残る協和地域の^{うえの}上野泉沢山線及び西仙北地域の西野寺ノ下線については、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

本年5月18日に発生しました大雨災害に伴う復旧対応については、協和地域の林道3カ所において8月6日に国の査定を受けております。また、西仙北及び南外地域の山地崩落2カ所については、県との協議を終えたことから、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、教育委員会関係についてであります。

「大仙ふるさと博士育成事業」については、「企業見学DAY」の実施に加え、本年度の新たな取組として、7月25日、30日、8月7日の3日間にわたり、「ふるさと農業体験DAY」を実施しております。

両事業にご協力いただいた市内4企業と3施設には、募集人員を大幅に上回る申込みをいただいております。

「第2回全国500歳野球大会」については、7月14日から16日までの3日間、県外21チームと県内11チームを迎え開催しております。決勝戦は、昨年に引き続き、神奈川県横浜シニアクラブと本県の牛島クラブが対戦し、牛島クラブが昨年の雪辱を果たし初優勝したほか、市内からは4チームが出場し、角間川角球クラブが3位に入賞しております。また、県外参加選手からは、多くの市民やサポートスタッフによる手づくりのおもてなしに、好評をいただいております。

「第40回全県500歳野球大会」については、184チームの参加のもと、9月22日から5日間の日程で開催することとしております。

最後に、財政状況について報告申し上げます。

平成29年度の決算については、実質収支は普通会計ベースで10億8,500万円の黒字であります。実質単年度収支は、昨年の大震災により財政調整基金から12億円を繰り入れたことなどから、4億2,100万円の赤字となっております。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする各特別会計決算については、全ての会計において実質収支がゼロまたは黒字となっております。また、市立大曲病院事業会計、上水道事業会計及び簡易水道事業会計の企業

会計については、決算における収益的収支がいずれも黒字となっております。

実質公債費比率については、過去3カ年の平均値で算出しており、これまでの市債発行額の抑制による公債費の縮減などから、前年度より0.7ポイント改善され、13.3パーセントとなっております。

将来負担比率については、前年度より5.9ポイント後退し、134.8パーセントとなっております。社会福祉法人の移行による市職員の退職に伴い、退職手当組合積立額が大きく減少したことや、昨年7月の大雨災害による財政調整基金の取り崩しが大きな要因ではありますが、今後は更なる市債の発行額抑制や繰上償還、財政調整基金の積み増しに努め、将来負担の軽減を図ってまいります。

市の財政運営については、普通交付税の減額により一般財源が不足する状態が続くものと見込まれることから、これまでの取組に加え、事務事業の総点検による廃止や縮減を含めた見直しを進めるなど、将来を見据えた健全な財政運営に努めてまいります。

以上、諸般の状況を報告申し上げましたが、これまで申し上げた以外のものについては、別添のとおり報告させていただきます。

今後とも市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。市政報告とさせていただきます。

別添

平成30年第3回大仙市議会定例会
市政報告

市長報告以外の諸般の報告

平成30年8月28日

大 仙 市

目 次

1	地方創生に関する連携協定について.....	2
2	非核平和都市宣言事業について.....	2
3	夏休み親子環境学習について.....	2
4	水稻の生育状況について.....	2
5	大豆産地化推進事業について.....	2
6	秋田大仙SPF豚センターについて.....	2
7	大仙サクラマス・ダービー&大仙サクラマスまつりについて.....	3
8	市の花「コスモス」の普及促進事業について.....	3
9	クマの出没状況について.....	3
10	仙北地域企業説明会について.....	3
11	県南地区職場研修事業について.....	3
12	新規高校卒業予定者の求人状況について（6月末現在）.....	3
13	大仙市企業インターンシップ事業について.....	4
14	V. LEAGUEサマーフェスティバルinお台場ビーチについて.....	4
15	第41回せたがやふるさと区民まつりについて.....	4
16	8月の各地域のまつり行事について.....	4
17	神奈川県座間市との地域間交流について.....	4
18	韓国唐津市との国際交流について.....	4
19	市単独の道路維持修繕及び新設改良工事について.....	5
20	大曲駅前第二地区土地区画整理事業について.....	5
21	建設部に係る国、県関係事業について.....	5
22	大曲中学校水泳プール改築事業について.....	5
23	秋田県HACCPの取得について.....	5
24	だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業について.....	5
25	コロンブスの卵 アキタ・デ・サイエンス事業について.....	6
26	第35回東北将棋大会並びに第13回大仙市民交流将棋大会 について.....	6
27	成人式について.....	6
28	超大型絵本のおはなし会・絵本作家のワークショップについて.....	6
29	角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業について.....	6
30	大学等のスポーツ合宿について.....	6
31	上水道事業について.....	7
32	簡易水道事業について.....	7
33	下水道事業について.....	7

【企画部】

1 地方創生に関する連携協定について

6月15日に、市役所3階第1会議室において、暮らしの安全・安心や産業振興、観光振興などの分野で、本市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社が、地方創生に関する連携協定を締結しました。同社のノウハウを活用し、各種セミナーの開催や講師の派遣等を実施します。

2 非核平和都市宣言事業について

7月24日から3日間、市内の中高生6人を「非核平和レポーター」として広島市に派遣しました。今後は、研修を通じて学んだ戦争の悲惨さや平和の尊さを報告書にまとめ、市広報やホームページ、FMはなびなどを通じて発表します。また、本年度も「平和標語コンクール」を実施し、今月末まで募集を行っています。

【市民部】

3 夏休み親子環境学習について

環境学習の推進を目的に開催し、7月31日の「昆虫博士になろう（会場：姫神公園）」に12組29人、8月7日の「さかな博士になろう（会場：斉内川）」に9組23人が参加しました。

【農林部】

4 水稻の生育状況について

6月中旬の低温により、生育が一時停滞したところもありましたが、その後の天候に恵まれ、出穂期は平年並の8月3日となり、概ね良好な生育状況となっています。

5 大豆産地化推進事業について

播種作業後の乾燥と低温により出芽・生育がやや遅れたほ場もありましたが、その後の適切な生育管理により概ね順調な生育状況となっています。大曲地域小貫地内の大豆栽培ほ場では、7月27日に管内の大豆栽培農家など44人の参加により、現地検討会を開催しました。

6 秋田大仙SPF豚センターについて

全農畜産サービス株式会社が南外地域大畑深山地内で建設を進めていた「秋田大仙SPF豚センター」が完成し、7月30日に竣工式が行われました。全国に向けた種豚7千頭の出荷は、平成31年6月を予定しています。

7 大仙サクラマス・ダービー&大仙サクラマスまつりについて

2回目となるサクラマスの釣り大会が4月1日から6月20日まで行われ、県内外から54人が参加し、22本のサクラマスが釣り上げられました。

6月30日に協和ダムの美山湖荒木沢公園で開催された「大仙サクラマスまつり」では、カヌー試乗体験やキャスティング競技などが行われ、釣り大会の表彰式では、国土交通省湯沢河川国道事務所長から優勝者にトロフィーが授与されました。

8 市の花「コスモス」の普及促進事業について

7月中旬、市の花コスモスの周知と景観美化のため、大仙市緑化推進委員会から、コスモスの種子入りプランター258個が寄贈されました。市内の学校、公民館、介護施設など122施設のほか、本年度は、新たに県の本庁舎及び議会棟へも設置されました。

9 クマの出没状況について

8月15日現在、市内でのクマの目撃数は89件、捕獲数は36頭となっています。昨年の同時期と比較し、目撃数は9件の減となったものの、捕獲数は16頭の増となり、昨年同様、活動が活発になっています。県内各地で人身事故や農作物被害が発生していることから、引き続き市民への注意喚起などを行っていきます。

【経済産業部】

10 仙北地域企業説明会について

7月9日、来春の就職を希望する高校生を対象に開催し、これまで最多となる60事業者からご協力をいただき、高校生143人が参加しました。

11 県南地区職場研修事業について

大曲仙北、横手、湯沢雇用開発協会の共催により実施され、67事業所、延べ291人が参加しました。

12 新規高校卒業予定者の求人状況について（6月末現在）

ハローワーク大曲管内で、前年度同期に比べ、事業所数30社、求人数94人がそれぞれ増加し、事業所数149社、求人数468人となりました。

13 大仙市企業インターンシップ事業について

16社から受入の申し出があり、各大学などに情報提供を行っています。今後は、インターンシップを行う学生やAターン登録者の就職活動に対し、交通費や宿泊費の一部を支援する「大仙市Aターン就職支援事業」について、市のホームページやFMはなびなどで広くPRを行い、市内企業の人材獲得と若者の地元定着に努めます。

14 V. LEAGUEサマーフェスティバル in お台場ビーチについて

7月22日に東京都お台場で開催され、東北4県のお祭りやイベントのひとつとして、「大曲の花火」をPRしました。

15 第41回せたがやふるさと区民まつりについて

8月4日から5日までの間、東京都世田谷区で開催され、市観光物産協会の職員など7人が参加し、特産品の販売や観光PRを行いました。

16 8月の各地域のまつり行事について

各地域や地区で、特色豊かな夏まつり行事が次のとおり開催されました。

- 8月 4日 第8回太田の夏まつり（太田地域）
- 8月 5日 亀田街道・雄清水まつり2018（西仙北地域）
- 8月15日 彩夏せんぼく2018（仙北地域）
- 8月15日 第34回ふるさと西仙まつり（西仙北地域）
- 8月16日 第5回南外盆踊り（南外地域）※天候不順により中止
- 8月16日 第34回ドンパン祭り（中仙地域）
- 8月16日 角間川盆踊り（大曲地域）※天候不順により中止

17 神奈川県座間市との地域間交流について

7月7日から8日までの間、神奈川県座間市の市民団体「座間市グリーンタウン自主防災会」の14人が本市を訪れ、「大曲日の出町『防災・防犯の会』」の11人と相互の活動紹介や意見交換を行ったほか、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部の視察を通じて交流を図りました。

18 韓国^{たんじんし}唐津市との国際交流について

8月1日から5日までの間、青少年交流事業として友好交流都市である韓国唐津市に市内の中学生8人を派遣し、産業施設や機池市^{きじし}綱引き博物館などの見学を行ったほか、ホームステイを通じて唐津市の青少年やホストファミリーとの親交を深めました。

【建設部】

19 市単独の道路維持修繕及び新設改良工事について

市全体で47カ所の工事のうち、20カ所はすでに契約を締結し、残りの工事についても早期発注に努めます。

20 大曲駅前第二地区土地区画整理事業について

7月20日、換地処分が県より公告され、翌日から事業地内の一部の町界、住居表示（住所）が変更になりました。

21 建設部に係る国、県関係事業について

・国事業について

雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業は、各地区の状況に応じて、築堤工事や堤防の嵩上げ工事のほか、工事着手前の地区において、移転対象家屋の調査手続きや治水対策の検討等を進めていると伺っています。

・県事業について

災害関連では、淀川、土買川及び檜岡川で、それぞれ災害復旧事業及び関連事業の工事を実施していると伺っています。

大曲地域の川西六郷線（藤木上橋）、中仙地域の国道105号（上長野橋）、南外地域の神岡南外東由利線（下袋工区）及び太田地域の角館六郷線（砂留工区）で工事を実施していると伺っています。

【教育委員会】

22 大曲中学校水泳プール改築事業について

8月23日に既存プールの解体工事が完了しました。新プールの改築工事のうち建築工事は、8月7日に契約を締結し、翌日着工しています。

23 秋田県HACCPの取得について

6月21日、仙北学校給食センターが取得したことにより、市内の全学校給食センターにおいて認証取得となりました。今後もより一層、安全・安心でおいしい給食の提供に努めてまいります。

24 だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業について

5月29日から30日までの間、太田中学校が大槌町と、6月26日に大曲中学校区の小中学校が大船渡市赤崎地区と交流を行いました。今後は、8月31日に太田中学校が大槌町の仮設団地や大槌町立大槌学園と、9月

6日から7日までの間、平和中学校が大槌町^{きりきり}吉里吉里地区と交流をするなど、複数の交流事業が予定されています。

25 コロンブスの卵 アキタ・デ・サイエンス事業について

8月1日、市内の中学生15人が秋田大学で研究室の見学や模擬授業の体験を行ったほか、10月には花火伝統文化継承資料館の見学、株式会社小松煙火工業や株式会社秋田今野商店での研修を予定しています。

26 第35回東北将棋大会並びに第13回大仙市民交流将棋大会について

7月15日、市内外から96人が参加し、大曲交流センターを会場に開催されました。前日の14日には、仙北地域ひまわり児童クラブの児童17人を対象に、プロ棋士による「どうぶつ将棋」や「本将棋」の講習会が開催されました。

27 成人式について

8月15日、新成人599人が出席し、大曲市民会館を会場として開催しました。式典終了後の記念アトラクションでは、太田地域出身で株式会社わらび座の劇団員、鈴木裕樹さんをお招きし、新成人にエールを送っていただきました。

28 超大型絵本のおはなし会・絵本作家のワークショップについて

6月17日、図書館の利用促進を図るため、約300人の参加により、大曲市民会館小ホールを会場として開催しました。

29 角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業について

6月に旧本郷家住宅の特別公開を開催し、期間中、約1,100人が来場しました。また、7月には、角間川小学校5、6年生の児童が、角間川盆踊りの会場となる旧本郷家住宅周辺において、側溝清掃のボランティアを行いました。

30 大学等のスポーツ合宿について

7月28日を皮切りに、首都圏の大学を中心に11団体（8大学、2高校、1学童チーム）の野球チーム、約600人が市内の施設を利用し、夏季合宿を行いました。

【上下水道局】

31 上水道事業について

大花町2件の配水管改良工事は6月28日に、内小友七頭地区2件の配水管布設工事は、7月12日にそれぞれ契約を締結しました。

32 簡易水道事業について

神宮寺地区簡易水道事業の認可変更申請に係る業務委託は、6月14日に、協和南部地区簡易水道事業の配水管布設工事は、7月5日にそれぞれ契約を締結しました。また、中仙地域入角地区簡易水道の水源新設工事は、9月上旬の契約締結に向けて準備を進めています。

33 下水道事業について

大曲地域は6月下旬から8月上旬に8件、神岡地域は7月下旬に2件、南外地域は7月26日に1件管渠工事の契約を締結しました。また、西仙北地域強首浄化センターの長寿命化対策として整備を進めている機械及び電気設備工事は、9月下旬の契約締結を予定しています。